

第2回推進協議会意見概要

意見概要	津山市の考え方
分野が幅広いので人数的なことも含めて実行段階になったときの協議会のあり方はどう考えているのか。	基本的には今の枠組みを維持しながら、個々に立ち上げる事業にそれぞれのプロジェクトといった推進体制を構築することを想定しています。その中で、協議会は全体の方向性の管理を行うことになるものと考えております。
合併後、津山市はかなり広い範囲になっており、中心部と高齢化が進む周辺部では全く違う人の動きになっているが、何か考慮しているものはあるか。	交通の分野では、次世代MaaS、ICカード決済対応などによって移動手段にお困りの方への対策を検討させていただけるかと考えています。環境・エネルギーの分野においては森林資源を活用した脱炭素等の取組にデジタル技術を導入するという検討も可能であろうかと考えています。
産業界で一番気になっているのは、人材不足です。取組内容に産業支援センターの活用による人材育成と言うようなことも書いていただいた方がいいのでは。	「デジタル人材の育成に向けた取組」のページを作成しました。
地域通貨・電子通貨を特筆している表現が見受けられるが、あくまでも商工業者の理解のもとに成り立つことですし、ハード面の整備も必要ですので、可能性、提案ということであれば、少し表現を控えてもらった方がよいと思います。	ご指摘のとおり、表現を改めました。
IT基盤の中にベースとして危機管理という点、災害対応、通信障害の問題等々の対応やどう考えるのかという記載は大事だと思いますが、そういうものは入らないのでしょうか。	「行政の目指す姿③」の中で、個別最適な情報の発信ができる仕組みを構築することとしておりまして、その仕組みを活用して避難情報などの発信も行うことができるものと考えています。国が定めるスマートシティのセキュリティ対策に準拠することで、災害等非常時の対応もできるものと考えております。
各分野でもう少し内容を絞った上で、どこに重点を置くのか具体的なものが示されるともう少しわかりやすくなると思います。	「各分野での目指す姿実現による生活の変化」のページを作成しました。